

## 「第1回徳山ダム廃棄物対策検討委員会」審議内容メモ

日 時：平成 17年11月16日（水） 14:00～16:00  
場 所：ぱ・る・るプラザG I F U 5階 木曾  
出席者：（委 員）藤縄委員長、田中委員、湯浅委員（abc順）  
（事務局）19名

### 【審議内容等】

1. 設立の趣意、規約、委員長の選出、委員会の公開について
  - 1) 設立の趣意、規約については事務局より説明があり、了解した。
  - 2) 委員長については、藤縄克之委員（信州大学教授）が選出された。
  - 3) 委員会の公開については資料6のとおり公開することで了解した。
2. 徳山ダム建設事業の概況について  
徳山ダム事業における建設事業の概況について報告がなされた。
3. 経緯報告について  
徳山ダム事業用地内において、現在、対策を実施している白谷地区・本郷地区以外に、家屋移転時の不要物が埋設されている箇所が、聞き取り調査等により7カ所あることが報告された。  
現在、白谷地区においては処理が実施され、本郷地区については、応急対策がなされていることが報告された。  
堆砂の予測結果と各埋設地点について、位置関係が明らかになるように指摘した。
4. 調査手法について  
調査手法について、以下のとおり内容を審議し指摘した。
  - 1) 調査については、状況に応じて柔軟に対応できるように（分析等を増やせるように）調査の際には配慮しておく。
  - 2) 埋設物について、廃棄物としてとらえるか、土壌としてとらえるかによって、試験方法が異なる。調査については、土壌として視点を統一することを基本とした。また廃棄物の搬出を行う場合には、廃棄物としての分析が必要となることから、あらかじめ試料を採取しておく。
  - 3) ダイオキシン類の簡易分析法については、方法により求める値が異なる場合があるので、慎重に分析方法を選択する。
  - 4) 湛水時に湖底に存置される場合には、ダイオキシン類等の挙動（覆土の厚さ等）を考慮して対応方針を判断する。
5. 今後のスケジュールについて  
今後のスケジュールについて、説明がなされ内容を審議した。
6. 審議内容の確認  
本日（平成 17年11月16日）の審議結果を本メモに基づいて確認した。

以 上